

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生産振興課

担当名：野菜担当

内線：4082

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B38	次世代施設園芸技術導入支援事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費		
事業期間	平成29年度～平成33年度	根拠法令	—				宣言項目	09	儲かる農業の推進	
							分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立	
<b>1 事業概要</b> 収益性の高い施設園芸経営の確立を支援するため、次世代技術実証・普及センター（仮称）で実証する新技術について、県内産地・生産者に対して早期に普及することを目的とする。 (1) 新技術導入補助 △5,965千円 補助金の要望が見込みを下回ったことによる減				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 新技術導入支援事業 26,700千円 (ア) 新技術導入補助 県内生産者等が導入する新技術関連機器（炭酸ガス施用装置、養液栽培システム等）の整備に対する補助 (イ) 次世代施設園芸地域展開促進事業 拠点が行う次世代施設園芸技術の地域展開（拠点の成果やノウハウの分析・情報発信等）への支援 イ 新技術普及推進事業 1,926千円 県が行う情報発信や普及活動等の取組、生産者等の視察対応、関係機関との連絡調整等 (2) 事業計画 ア 整備事業 H29～H33 新技術関連機器の整備費補助 各年度 統合環境制御装置及び併せて導入するCO2施用システム、細霧システム、養液システム 6地区 イ 国庫補助事業 H29～H33 地域展開活動への支援 埼玉拠点 ウ 推進活動 H29～H33 情報発信や普及活動等の取組、生産者等の視察対応、関連機関との連絡調整等 (3) 事業効果 生産者の経営に応じた施設園芸の新技術の導入が進み、技術及び経営の革新が図られる。施設園芸産地が活性化し、本県野菜生産が大きく飛躍する。 (4) 補正予算の概要 (1) 新技術導入補助：補助金の要望が見込みを下回ったことによる減額。						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (1) (県1/2) 生産者団体等1/2 (国10/10・県0) 生産者団体0 (2) (県10/10)										
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×1人=9,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△5,965	国庫支出金							△5,965	22,661
現計額	28,626	1,000							27,626	